

能と狂言

人間国宝の競演

友枝昭世と山本東次郎の至芸

開催日 令和2年5月3日(日・祝) 14時開演(13時30分開場)

会場 川崎市麻生市民館大ホール

(小田急線新百合ヶ丘駅北口徒歩3分)

解説 馬場あき子

狂言 花盗人 山本東次郎

能 清経 友枝昭世

アフタートーク 馬場あき子、山本東次郎、友枝昭世



狂言「花盗人」山本東次郎 撮影 神田佳晴



能「清経」友枝昭世 撮影 東條睦子

チケットご購入のご案内 2月3日(月)より発売! 良いお席はお早めに。

■料金 SS席6,000円 S席5,000円(全席指定)

〈インターネット〉

アルテリッカ

検索

アルテリッカしんゆりチケットセンター(24時間対応)
<https://www.artericca-shinyuri.com/>

〈電話予約〉

アルテリッカしんゆりチケットセンター
(10:00~17:00/土・日・祝を除く。ただし4/1からは毎日営業)
TEL.044-955-3100

〈窓口販売〉(A・B・C・D・E / 地図参照)

- A 川崎市アートセンター(9:00~19:30/毎月第2月曜除く ただし祝日の場合は翌日)
- B 新百合21ホール(10:00~17:00)
- C 昭和音楽大学南校舎(10:00~18:00/12:00~13:00及び土・日・祝を除く)
- D 昭和音楽大学北校舎(10:00~17:00/12:00~13:00及び土・日・祝を除く)
- E マイタウンチケットセンター
(新百合ヶ丘マブル「写真工房 彩」内 9:00~21:00/不定休)

★お近くのセブンイレブンでもお買い求めいただけます

主催:公益財団法人川崎市文化財団
共催:川崎・しんゆり芸術祭2020実行委員会
川崎市
川崎市教育委員会
後援:「音楽のまち・かわさき」推進協議会
NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり

Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

めざせ! やさしき日本代表!
かわさきパラムーブメント

音楽のまちかわさき

しんゆり芸術のまち

beyond
2020



お問い合わせ ▶ 川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)2020実行委員会事務局 TEL.044-952-5024 FAX.044-955-3212

解説 馬場あき子

狂言 花盗人

シテ三位 山本東次郎

アド花主 山本 則重
立頭花見の衆 山本 泰太郎
立衆花見の衆 山本 則俊
立衆花見の衆 山本 則孝
立衆花見の衆 山本 凜太郎
立衆花見の衆 山本 則秀

後見 若松 隆

休憩(20分)

能 清経

ツレ清経の妻 内田 成信
シテ平清経 友枝 昭世

ワキ淡津三郎 宝生 欣哉

大鼓 大倉慶乃助
小鼓 曾和 正博

笛 栗林 祐輔

後見 中村 邦生 金子敏一郎
友枝 雄人 佐藤 寛泰
地謡 大島 輝久 長島 茂
谷 友枝 真也 香川 靖嗣
友矩 友矩 狩野 了一

アフタートーク 馬場あき子、山本東次郎、友枝昭世

狂言 花盗人【はなぬすびと】

下屋敷の桜が盛りになったというので花主が客人たちを連れて花見へ行ったところ、花が折られた跡を見つけます。花盗人というものは花が咲いているうちは再び盗みにやってくるものであると、一同は盗人を待ち構えます。そこへ、前の日にあまりに見事な桜に思わず一枝を盗んでしまった三位(位の高い出家)が稚児に求められて、もう一枝盗みにやってきました。三位は枝を手折ったところで捕まって、桜の幹にいましめられてしまいます。盗んだ理由を問われ、花盗人は罪にならないと古歌を引いたところから、思わぬ歌問答が始まります。

能 清経【きよつね】

都落ちした平清経の家臣淡津三郎(ワキ)が、筑前国柳が浦で入水した清経の形見の黒髪を持って都に住む清経の妻(ツレ)の元を訪ねます。清経入水の顛末を聞いた妻は、自分を残して自殺するとはあんまりだと嘆き悲しみます。遺髪を見るに忍びず涙ながらにまどろんでいると、夢のなかに清経の霊(シテ)が現れて妻に呼びかけます。妻が再び生きて姿を現さなかった夫に恨み言を言うのと、清経は敗戦の後に望みを失って入水するに至った心境を語り妻を納得させようとしています。やがて清経は修羅道には落ちたが、入水の際に唱えた念仏の功德によって成仏できたと告げて消えてゆきます。

プロフィール

友枝 昭世 (ともえだ あきよ) ●能楽師 喜多流 シテ方



- 1940年3月24日生まれ。肥後熊本・加藤家・細川家のお抱え能役者の本座・友枝家に友枝喜久夫の長男として、東京に生まれる
- 1946年/能楽シテ方喜多流十五世宗家喜多実氏に師事
- 1978年/第28回芸術選奨文部大臣新人賞受賞
- 1994年/第16回観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞
- 1995年/第45回芸術選奨文部大臣賞受賞
- 1996年/「友枝会」(江戸幕府崩壊後、曾祖父友枝三郎のもと熊本にて発足)を父喜久夫没後継承
- 2000年/春の紫綬褒章受賞
- 2003年/日本芸術院賞受賞
- 2004年/伝統文化ポララ賞大賞受賞
- 2008年/重要無形文化財各個指定(人間国宝)認定
- 2011年/日本芸術院会員に就任
- 喜多流宗家預り

山本東次郎 (やまもと とうじろう) ●能楽師 大蔵流 狂言方



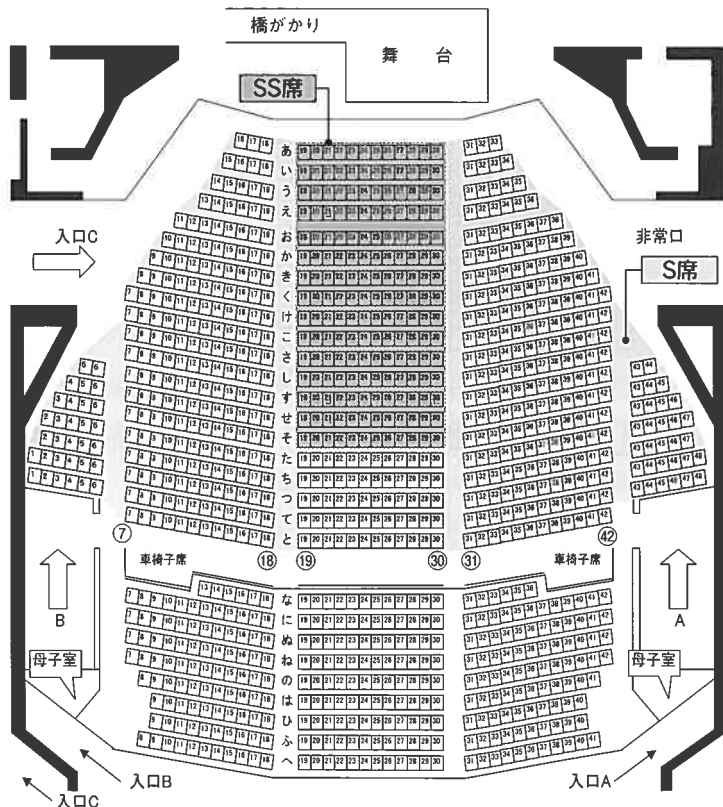
- 1937年5月5日生まれ。山本東次郎家四世。三世東次郎の長男。山本会を主宰。
- 1964年/芸術祭奨励賞受賞
- 1992年/芸術選奨文部大臣賞受賞
- 1994年/第16回観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞
- 1998年/紫綬褒章受賞
- 2001年/エクソンモービル音楽賞(邦楽部門)受賞
- 2007年/日本芸術院賞受賞
- 2012年/重要無形文化財各個指定(人間国宝)認定
- 2017年/日本芸術院会員に就任
- 一般財団法人杉並能楽堂理事長
- 著書 「狂言のすずめ」、「狂言のことだま」、「山本東次郎家 狂言の面」(玉川大学出版部)、「狂言 山本東次郎」(共著)(新人物往來社)、「中高生のための狂言入門」(共著)(平凡社)

馬場 あき子 (ばば あきこ) ●歌人



日本を代表する歌人、文芸評論家。短歌結社「かりん」主宰。古典や能に対する造詣も深く、喜多実入門。新作能の制作も行い、「影媛」(国立能楽堂委嘱)は大好評を博した。文化功労者、日本芸術院会員、朝日歌壇選者ほか。「馬場あき子全集」全13巻ほか歌集や著書多数。川崎市在住。

川崎市麻生市民館 ホール座席表



詳しくは 川崎市麻生市民館座席表

検索